

奈良教育大学に

思うこと

あかい
高畑 剛 井町自治会長

棚田 利嗣

開かれた大学

私が物心ついた頃、奈良教育大学のキャンパスには、星条旗がひるがえり進駐軍の兵隊が闊歩しておりました。初めて見る外国人、長身で非常に格好良く見えたことを覚えております。兵隊の乗っているジープや大きなトラックなど、目を見張るものばかりでした。そのような姿もいつしか見えなくなり、学芸大学が移転して来るとの話聞き、勉強嫌いな自分にとっては無縁なことだなど思ったりしたものでした。

そのような大学も、

歴代の学長さんや教職員、関係者の努力のお陰で、次々と施設が充実し、随分立派な大学になったと思います。私自身もアルミプールの新設工事や校舎新築などの工事に参加したこともありました。近年は「開かれた大学」などといわれ、地域住民との交流に積極的に取り組まれているようで非常に良いことだと思っております。春の桜の花見もその一環だと思いますが、許



されるならもつと気軽に花見ができるよう、規制が緩くなれば良いなとも思う次第です。

学生さんへの思い

一昔前のことですが、全国で学園紛争が相次いで起こりました。奈良教育大学もその例外ではなく、大学正門が机や椅子などで封鎖され、正門前の交番も窓硝子を金網で囲ってあったことを思い出します。当時、何を馬鹿やっていると怒っていました。今思うとそのくらいの元気も良かったかなとも思います。

今の学生さんは品行方正で、さすが将来先生を目指しておられる方だなと感心しております。高畑の桜寮が国際学生宿舎に改築される前は、学生さんが五人十人と近所の銭湯によく見えました。真っ



改築前の桜寮（平成6年改築）

黒な足で洗い場を歩くので、黒い足跡が洗い場にベタベタとついたのを思い出します。今の学生さんは一昔前のような蛮カラ風がなくなり、皆さん小奇麗な方ばかりです。特に外国の女子学生が国際学生宿舎から通う姿をよく見かけます。随分と国際交流が盛んに行われているようです。

おわりに、大学が今後ますます充実され発展されるよう願います。